

光市医師会報

平成18年1月号

No.381



室積

光市医師会

<http://www.yamaguchi.med.or.jp/users/hikarishi/isikaihp/hikari.htm>

巻頭言

平成18年年頭にあたり

光医師会会長 河村康明

明けましておめでとうございます。

平成17年中は、光市医師会会員諸先生方の御協力で医師会の方もとどこおりなく運営することができました。改めまして御礼を申し上げます。会長に選任されて、あっという間の2年間ではありましたが、無事に大任を全うすることができましたことも、会員諸氏の御協力をあつたればこそ併せて感謝申し上げます。

昨年は衆議院選挙で御協力をいただき、「小泉劇場」の名の如く、脚本・演出・主演を一人占めた格構となり、逆に医系議員は頭うちに終わり、今後の保険制度・年会制度を考えますと、少し息苦しくなつてまいります。この様な時にこそ第一線の我々がスクラムを組んで上部団体に多少なりとも意見を反映してもらえるように頑張らなければいけないと思います。

光市医師会の会員数も新光市発足で光市立大和総合病院の先生方の加入があり、100名にせまる勢いで増加いたしました。B会員（勤務医）の先生方が多数いらっしゃいますので、A会員・B会員の連携が益々重要になってまいりました。病診連携だけでなく、個人個人の交流もより深くあらん事を望みたいと思います。

又、新規開業（A会員）も少しずつ増加しておりますので、A会員同士のつながりも（診診連携を含めて）より密なものとなるように頑張らしましょう。

昨年は混合診療の導入反対や国民皆保険制度の維持などで度重なる署名活動の御協力を得ましたが、国民も保険・年金制度についても敏感である事を肌で感じました。活動自体は選挙の結果に吹き飛ばされたようになってしまいましたが、高齢化が進んでいる状況は光市も同様であると思いますので、地域の声、地域の人々を大切にした医師会でありたいと日常の診療・活動を通じて前面に押し出していきたいと思っております。

本年の皆様方の御活躍、御健康を祈りまして、平成18年のあいさつと致します。



1 2月の医師会長

1 2月 1日 (木)	室積保育園健診 光市市民病院あり方検討委員会	(光市立光総合病院)
1 2月 6日 (火)	光市医師会講演会	(商工会館)
1 2月 8日 (木)	大和保育園健診	
1 2月 9日 (金)	光市医師会忘年会	(金久)
1 2月1 2日 (月)	介護認定審査会	(あいぱーく)
1 2月1 3日 (火)	理事会	(商工会館)
1 2月1 5日 (木)	郡市医師会会長会議	(山口県医師会)
1 2月1 8日 (日)	休日診療所	(あいぱーく)
1 2月2 2日 (木)	光市健康増進計画策定協議会	(あいぱーく)

1 2月の医師会活動

I. 6(火) 学術講演会	(光商工会館2F)
II. 9(木) 光医師会忘年会	(かな久旅館)
III. 13(火) 定例理事会	(医師会事務所)

I. 学術講演会



「自己骨髄細胞を用いた 肝臓再生療法の開発」

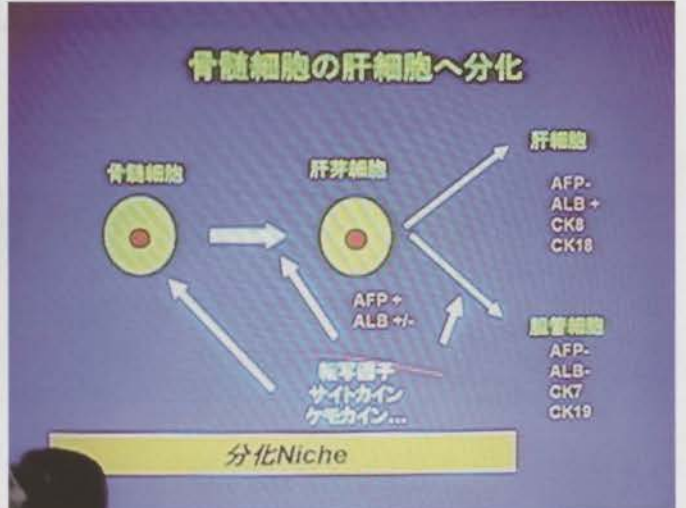
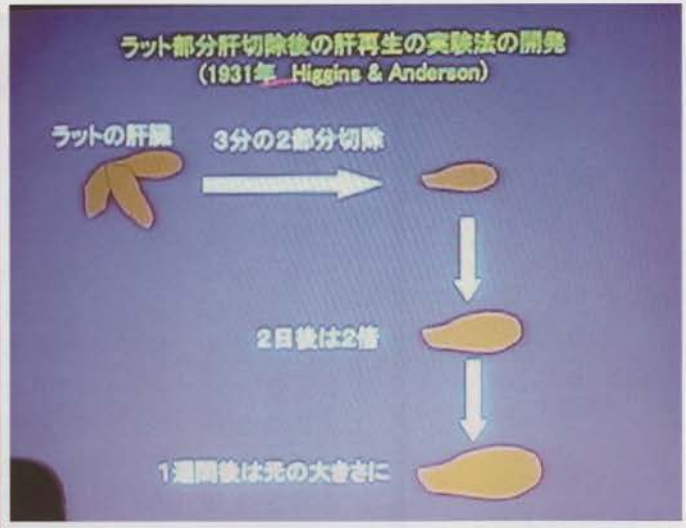
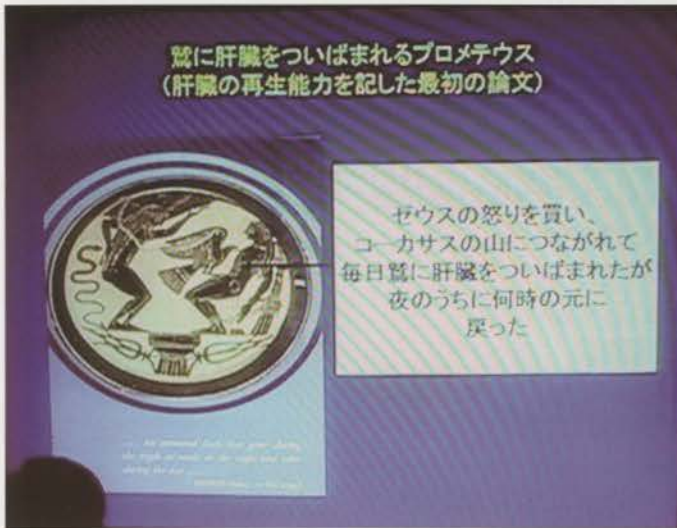
山口大学医学部 消化器病態内科学 学術併任講師
寺井 崇二 先生



現在山口大学で再生細胞医療を研究・治療されている寺井先生にお話を伺った。
将来ステムセルが臓器移植に取って代わるようなことはないであろうが、あればSF小説を超えるなど
思った次第である。

《要約》

- 発生の段階で、骨髄細胞と肝細胞は似ている
- 肝臓の成熟機構
肝臓は胎児の一時期に造血の場を提供し、血液細胞と協調的に成熟する。
肝臓の幹細胞は分化していくが、2000年に肝臓以外の幹細胞が発見される
- 肝臓は再生能力が高い
- 肝細胞増殖因子(Hepatocyte Growth factor)の発見の歴史
1967:Moolten & Bucher:肝臓を再生する体液性因子の存在の予測
1969:ラット初代肝細胞培養法確立
1982:部分肝切除するラット血清中にDNA合成促進因子の存在を予測
1982:血小板に肝細胞増殖因子(HGF)の存在することを発見
1984~1985:HGFの精製(中村、坪内、大工原)
1989:HGF遺伝子の同定



- 部分肝切除後に再生されるのは、肝細胞、胆管細胞、伊東(星)細胞・クッパー細胞、内皮細胞の順である。
- 肝不全(劇症肝炎、肝硬変、肝癌)で亡くなる人、約30万人。それに生体肝移植、脳死肝移植を試みるのだが、ドナーの問題、手術侵襲の問題、医療費の問題(一例2000万円)があり、容易でない……新しい治療法の開発?
- 白血病の患者(女性, XX)に男性患者(XY)のドナーからの骨髄移植を行った例(2000年)女性患者は亡くなったが、女性患者の肝臓にY染色体陽性の肝細胞が見つかった
→骨髄細胞は肝細胞に分化する!
→自己骨髄細胞を用いた肝臓再生療法の開発は可能ではないか?
- 日本に帰り山口大学で以前から行っていた肝幹細胞・肝発生の研究に、GFP/CC14モデルの開発、解析を加え、2001年12月に山口大学倫理委員会に臨床研究の申請を行い、2003年11月から臨床研究(Phase I)の開始となった。
- 骨髄細胞はある種の刺激で肝芽細胞になる! それはどんな時なのか?
- α FetoProtein (α FP)を用い、マウス胎児肝を特異的に認識する新規モノクローナル抗体を作成炎症性のシグナル(SEK/JNK)系のシグナルがないと骨髄細胞は肝芽細胞に分化しない。
→どんな炎症を与えるか? ①部分肝切除②四塩化酸素による持続的的刺激③肝臓の幹細胞を誘導する方法が考えられたが、②を用いることとした
- GFP陽性骨髄細胞を肝臓に投与したが、正常肝細胞には骨髄細胞は着かない、しかし持続的に肝障害を起こしている肝臓には骨髄細胞は定着した。

- 骨髄中に存在するLiv8陰性分画が肝細胞再生に有用な細胞群である
- 骨髄細胞移植により肝繊維が改善する
- FGF2が骨髄細胞の肝細胞への分化を促進する

骨髄細胞の肝細胞への分化評価モデルの開発

An in vivo model for monitoring trans-differentiation of bone marrow cells into functional hepatocytes. *J Biochem (Tokyo)*. 2003;134(4):551-8.
 特許公開2003-70377号 AASLD 2001 Plenary発表
Hepatology 2004 Apr; 39(4):1143-8. で紹介

GFP/CCl₄ model
 骨髄細胞の肝細胞への分化評価モデル

骨髄細胞 (1x10⁶ 細胞)
 C57/BL6 + GFP
 C57/BL6
 (同種同系)

肝臓移植 (肝臓切除)
 1週 2週 3週 4週

肝臓移植グループ
 肝臓切除 (CCl₄) 投与

Yamaji S et al. *JB* 134 (4):551-8, 2003

GFP/CCl₄モデル

肝線維化制御

骨髄細胞 (Liv2⁻) → FGF → 肝芽細胞 → 肝細胞 (ALB⁺)

HOX HLH → Liv2⁺

Differentiation Niche

骨髄細胞は持続肝障害下の分化Nicheにおいて肝芽細胞の分化しさらに肝細胞に

Terai S. *JB* 2003
 Yamamoto M. *EBRC* 2004
 Omori K. *FEBS Letters* 2004
 Sakaida I. *Hepatology* 2004
 Watanabe T. *Dev. Biology* 2002
 Ishikawa T. *CTA* 2005
 Terai S. *J Hepatobiliary Pancreat Surg.* 2005 (Review)
 Yokoyama V. *Proteomics* in press.

施行症例 (現在まで11症例に施行)

Pt. (etiology)	BMT
1. 69, M (HBV)	H15.11.14
2. 59, M (HBV)	H16. 2.10
3. 57, M (alcohol+C)	H16. 2.27
4. 66, F (unknown)	H16. 3.05
5. 69, M (HCV)	H16. 5.07
6. 63, M (HCV)	H16. 5.21
7. 55, M (HBV)	H16. 9.24
8. 56, M (HCV)	H17. 1.14
9. 60, M (HCV)	H17. 7.29
10. 60, M (HCV)	H17. 8.19
11. 60, M (HCV+HBV)	H17.10.21



予想される幹細胞と癌幹細胞の違い

	幹細胞	癌幹細胞
Terminal Differentiation	+	-
DNA 異常	なし	あり

- 実際の臨床治療: 自己骨髄細胞を用いた肝臓再生療法
 対象症例 (非代償性肝硬変症)

T.B 3.0mg/dl以下
 血小板 5万以上
 肝細胞癌についてはviableなものがCT, MRIでないもの
 静脈瘤のコントロールが良好なもの
 全身麻酔をかけるので心肺機能は良好なもの

○ 臨床研究のプロトコール

肝生検は骨髄細胞投与前と投与後2週間目、4週間目に行う

骨髄細胞投与当日は、1. 全身麻酔下に、2. 腸骨から400mlの骨髄(細胞)を採取、3. 採取した細胞の洗浄・濃縮を行い、4. FACSにて投与細胞の検討をし、5. 末梢静脈から骨髄細胞を投与する→安全性、1ヶ月後、6ヶ月後の肝機能改善を評価する

○ 現在までに11例施行、効果有り!

現在、他大学と旭川・山形・東京医科歯科大学等多施設臨床研究に入っている

○ 癌の幹細胞はDNAの異常があり、Terminal Differentiationがない

(文責 道上 文和)

II. 平成17年度光医師会忘年会

日時:平成17年12月9日(金)午後7時～

場所:金久旅館









顕彰 旭日双光章

竹中 昭二 先生

平成17年11月3日



竹中昭二先生が、平成17年11月3日、旭日双光章を授与されました。会員一同、心よりお祝い申し上げます。

ご功績

- 1 昭和29年光市国保診療所勤務として7年間にわたり、光市民の医療・健康・福祉向上に努められました。特に、当時は公衆衛生対策の不備等から法定伝染病が流行し、その治療と予防に日夜奔走され、医療と環境衛生に尽力されました。
- 2 昭和36年光市に竹中医院(産婦人科・小児科)を開業され、地域住民の健康保持増進に努められました。
- 3 光市医師会において、監事・理事・副会長・会長の役職を29年間の長きにわたり勤められ、地域医療の充実と発展に寄与されました。
- 4 山口県医師会の予備代議員・代議員として8年間、山口県医師国民健康保険組合の組合会議員として6年間、会務に参画し、組織の発展に尽力されました。

Ⅲ. 定例理事会

日時:平成17年12月13日(火) 午後7時30分～

場所:光市医師会事務局

議題:

I. 報告事項

- 1. 光市市民病院のあり方検討委員会(12/1) (河村会長・守田理事)
- 2. 会計報告(4月～11月) (松村副会長)
- 3. 新規開業の件 (河村会長)

連絡事項

受付		発送番号	通達文書名
月	日		
12	6	山医発555	RICが行う「医療機関における過重労働・メンタルヘルス対策に係る基礎アンケート」実施に対する協力依頼について
	8	山医発559	平成17年度乳幼児突然死症候群対策月間について
		山口県医師会	妊婦への魚介類の摂取と水銀に関する注意事項について
	12	日医発753	厚生労働省作成の「『医療・介護関係事業者における個人情報の適切な取扱いのためのガイドライン』に関するQ&A(事例集)」の追加Q&Aについて
		山医発564	今冬のインフルエンザ総合対策の推進について
	13	山医発560	平成17年度社会保険医療担当者(医科)の集団指導実施について
		山医発570	日本医師会生涯教育制度「認定証」送付について
		山医発572	平成17年度学校医講習会の開催について
		山医発571	平成17年度乳幼児保健講習会の開催について
	14	徳山医師会	平成17年度 山口県医師会囲碁大会のご案内
		東都医発1951	平成17年度東京都医師会産業医前期研修会の開催について
		事務連絡	山口県救急医療情報システムの運用状況
	15	山医発573	インフルエンザHAワクチンの安定供給について
		山医発575	X線CT装置等と植込型心臓ペースメーカー等の相互作用に係る「使用上の注意」の改訂指示等について及びメドトロニック社製植込型ペースメーカー(セラシリーズ)に係る注意喚起等について(通知)
		山医発576	新型インフルエンザに関する情報の掲載について
		山医発577	精神障害者に対する雇用支援の充実強化について
		山口県医師会	掲示事項等告示の一部改正について
	19	山医保発67	組合会議員選出方について
		山医発579	無資格者による医業の防止について
		山医発582	山口県医師会表彰規程第2条第4号による表彰について
		山医発583	次期の山口県医師会代議員及び予備代議員の選出について
		山医発586	第41回山口大学医師会・山口大学医学部主催医師教育講座の受講者募集について
		山口県医師会	平成18年度診療報酬改定率について
	21	山口県医師会	ラジオ波(RFA)に際して使用する電気手術器の「使用上の注意」の改訂等について
	26	山看協周41	周南支部看護研修会の開催について
		山医発592	障害者自立支援法に基づく自立支援医療に係る説明会について
		山医発594	第56回山口県産業衛生学会 山口県医師会産業医研修会の開催について
		山口県医師会	使用薬剤の薬価の一部改正について
		日本医師会	平成16・17年度 介護保険委員会答申の送付について
		産業医研修会事務局	産業医研修会について
		労災保険情報センター	新刊図書の発行について
		日本医師会	「自浄作用活性化推進にむけて—ハンドブック—」の送付について
	28	山医発601	第2回「指導医のための教育ワークショップ」報告書の送付について
		山医発603	「全国介護保険・老人保健事業担当課長会議」資料の送付について



光医歯会忘年ゴルフ・成績表

平成17年12月25日(日) 於)周南カントリークラブ

	アウト	イン	Gross	HC	Net	順位	表彰
光武 達夫	46	45	91	12	79	1	
国近 豊	46	51	97	18	79	2	
平田 万三志	48	44	92	12	80	3	NP
前田 昇一	45	48	93	11	82	4	
赤碓 信正	47	49	96	14	82	5	DC
森本 博士	47	42	89	5	84	6	DC
兼清 照久	45	47	92	8	84	7	NP
横山 宏	50	45	95	10	85	8	
河崎 要助	56	50	106	20	86	9	
白石 慶	51	53	104	17	87	10	DC
枇榔 義昭	55	57	112	23	89	11	
南 典文	50	57	107	18	89	12	
諏訪 高志	51	49	100	9	91	13	
冬野 幾久男	54	55	109	17	92	14	DC
守友 康統	56	50	106	14	92	15	
守田 忠正			0	12			
守本 正春	50	50	100				
田中 博之	48	52	100				NP
久保田 肇	51	54	105				

12月休日当番医報告

	内科系	外科系
12/ 4(日)	18	2
11(日)	42	7
18(日)	18	4
23(金)	34	3
25(日)	24	1
31(土)	68	23
計	204	40

あ と が き

確かに時代は変わってきているだろうとの予感の中、新年を迎えました。相も変わらず、厳しい現状の中医療人も早く企業人になれよと急かされている気分です。本年もよろしくお願い致します。

発行所 光医師会
 TEL(0833) 72-2234
 発行日 平成18年 1月10日
 発行者 河村康明
 編集者 広報担当
 印刷所 光市光井一丁目15番20号
 中村印刷株式会社